各　　位

2013 年 6 月 20 日

会 社 名　レーザーテック株式会社
代表者名　代表取締役社長　岡林　理
（コード番号　6920）
発表担当　企画 IR 室長　　浅井　浩志
技術説明　技術 1 部長　　関　寛和

新製品：ハイブリッドレーザーマイクロスコープ「OPTELICS HYBRID」を発表

【概要】

この度レーザーテックは、405nm レーザーとカラーコンフォーカルの 2 つの光学系を融合し、高い汎用性と多機能性を追求した**ハイブリッドレーザーマイクロスコープ「OPTELICS HYBRID」**を製品化し、2013 年 6 月より受注を開始いたします。

【背景】

各種民生機器・産業機器の高性能化と同時にエネルギー資源の有効活用、環境改善に向けた取り組みが世界規模で加速されています。これに伴い、半導体デバイス、金属、樹脂、さらに新素材など、各種材料における技術開発が各分野で一層強化され、顕微観察においても開発・製造プロセスにおける材料の表面構造等のより迅速かつ正確な測定の必要性と、用途の拡がりへの対応が求められております。

「OPTELICS HYBRID」は、このような喫緊の課題に応えるべく405nmレーザーとカラーコンフォーカルという異なる2つの光学系を1台に融合し、高分解能と多機能を両立させて誕生した新しいコンセプトのレーザーマイクロスコープです。

【特長】

従来からレーザー顕微鏡は、各種サンプルのミクロンオーダーの表面形状測定、及び観察が容易にできる機器として様々な場面で活用されてきました。しかし最近では、ナノメートルオーダーの測定ニーズが急増すると同時に、測定対象の拡がりと作業効率向上のために 1 台で様々な用途に対応できる汎用性や多機能性も重視され、従来のレーザー顕微鏡の適用範囲に限界が生じておりました。

「OPTELICS HYBRID」は、このようなニーズにお応えすべく、業界で初めてレーザーとカラーコンフォーカルという異なる光学系を両立させ､それぞれの長所を 1 台に集約することを実現した製品です。

これにより、高倍率、高分解能、広視野、さらには光干渉測定、反射分光膜厚測定による形状測定や膜厚測定の機能なども 1 台で備えた高い汎用性のある製品となっております。

主な特長は次の通りです。

1．高分解能：405nm レーザー光線による高倍率・高分解能観察で超微細構造も鮮明に可視化。
2．広視野観察：一般的なレーザー顕微鏡に比べて約 1.6 倍の広視野観察による作業効率の向上。
3．ナノメートルオーダー測定：光干渉測定、反射分光膜厚測定、AFM によるナノメーターレベル構造の測定。（AFM はオプション）
4．波長選択：6 波長からサンプルに最適な波長を選択し、様々なニーズに対応した観察・測定を実現。
5．高精細カラー観察：カラーコンフォーカルの特長である焦点深度の深い高精細カラー画像の取得。

さらに、当社独自の高速スキャニング技術による業界最速の 15 フレーム／秒の処理スピードでストレスのない操作を可能にしています。

また、操作性の高い GUI により、簡単な操作でハイレベルな測定と解析が行えます。マニュアル不要の操作ガイダンスに加え、ワンクリックでサンプルの最適設定と自動測定が可能な機能や、熟練者の操作手順を記録するマクロ機能を備えております。

オプションも豊富に取り揃え、前述の AFM 機能の他、測定性能を向上させる当社独自の高 NA 対物レンズ、半導体パターンなどの幅・高さ・表面粗さ等を測定する「自動測定ソフト」、及びウェハなどの異物や欠陥を自動で全面検査する「自動全面検査ソフト」の活用で、さらなる機能の向上が可能です。

業務効率の向上に、是非ともこの新型**レーザーマイクロスコープ「OPTELICS HYBRID」**をご活用ください。

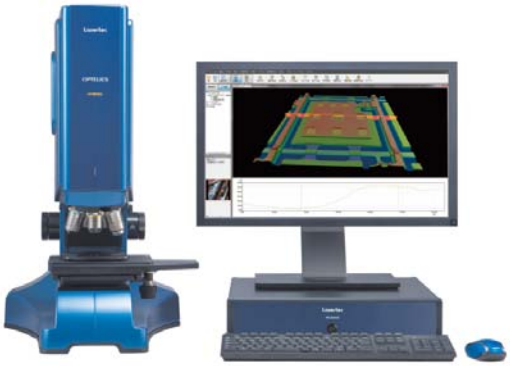
【用途】

各種材料の観察及び形状測定

半導体材料&デバイス、透明膜、ITO 膜、MEMS、コーティング材料、フィルム、
無機・有機材料、バイオ系試料、金属部品、プラスチック加工部品など

【構成】

顕微鏡本体、制御部、光源ユニット、PC&液晶モニタ



ハイブリッドレーザーマイクロスコープ

OPTELICS HYBRID

【標準販売価格】

本体価格 1,500 万円～2,000 万円（価格はモデル・仕様により異なります）

【受注・販売目標台数】

初年度 50 台

◇お問い合わせ先◇
〒222-8552 横浜市港北区新横浜 2-10-1
レーザーテック株式会社　第二営業部:神山 弦一郎
TEL:045-478-7330 FAX:045-478-7333 E-mail: sales@Lasertec.co.jp